

「2025年日本土地環境学会 研究発表会」で発表

環境を基礎とした土地評価等への貢献を目的に1993年に設立された学会

「確かな技術で、社会づくりに貢献する」をミッションに据える株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）では、大切にしている価値観（バリュー）の一つとして、「品質・技術力で勝る会社になる」を掲げ、社員は自己研鑽に励んでいます。

2025年10月4日に開催された「2025年日本土地環境学会 研究発表会」（主催：日本土地環境学会）で、ATK 社員による発表を行いました。概要は以下の通りです。

<p>海水成分による CO₂ 固定と生成炭酸塩による地盤造成の提案</p> <p>糸永 眞吾</p>	<p>地球上の CO₂ の存在量は、大気中を 1 として海水に約 50、化石燃料を除いた堆積物では主に石灰岩等として約 2 万 7 千に及ぶ。石灰岩は主に生物により合成されており、例えば宮古島などは琉球石灰岩の地盤で構成されている。</p> <p>CO₂ と、カルシウム・マグネシウムといった海水の成分とを化学的に合成し炭酸塩とすることによる大気中の CO₂ を削減、ひいては地球温暖化問題の解決を目指す提案を行った。</p>
---	--

以上

